

H311		知的財産法A	
英名科目名	Industrial Property Law		
大学名	同志社大学		
連絡先	今出川キャンパス教務センター（法学部） TEL：075-251-3511 FAX：075-251-3064		
担当教員	井関 涼子（法学部教授）		
開講期間	2021年09月25日(土)～2022年01月24日(月) 1～2講時 9時00分～10時30分、10時45分～12時15分（毎週木曜日） 休講 2021年12月30日（木） 休講 2022年01月06日（木）		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	木曜日 1講時
単位数	4	履修年次	3年次以上
会場	今出川校地		
授業定員			
単位互換生定員		京カレッジ生定員	
試験・評価方法	<p><成績評価基準> 小テスト 10% 授業において、基本的な事項を理解しているか。 期末筆記試験 90% 特許法・不正競争防止法・商標法・意匠法の制度の基本、特に、制度趣旨を理解しているかどうか。丸暗記ではなく、真に理解し応用できる力がついているかどうか。</p> <p>試験前に、e-class（同志社大学HP内にある、双方向授業支援システム）に、前年の試験問題と解答・解説を掲示するので、しっかり勉強してほしい。また、試験採点后、解答・解説・成績分布・最高点を、同様に掲示するので、復習してほしい。</p>		
超過時の選考方法			
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	オンデマンド授業を行う。		
パッケージ科目			
低回数受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p><概要> この科目は、特許法、競争法の講義各1コマからなり、並行して進める。 特許法は、国の政策「知的財産立国」、すなわち特許保護強化政策（プロパテント）の下、刻々と変容を遂げようとしているが、どのような趣旨で立法されているのか、近年の相次ぐ法改正、判例の変遷が意味するもの、これからのあるべき姿等を考える。 競争法の講義のうち、不正競争防止法と商標法は、いわゆる偽ブランドを禁止して事業者の営業上の信用を保護する等の規律によって、競争秩序を維持しようとするものであり、意匠法は、工業デザインの創作を奨励することにより、産業発達を目指すものである。近年、営業秘密の保護強化や、商標登録の対象の拡大など、新たな問題や法改正も多く、法の趣旨、あるべき姿などを考える。 具体的には、以下の項目につき基本事項および理念を学び、更に最近の法改正、判例について理解を深める。</p> <p><到達目標> 学生が、特許法、不正競争防止法、商標法、意匠法がどのような目的の下に制定され、その目的が個々の規律においてどのように実現されているかという法の趣旨を理解し、現実に生じている具体的な問題について、それぞれの法律上、どのように考えるのかという基本的な考え方を身につける。</p>			
講義スケジュール			
<p>特許法第1回 特許法のあらまし （1）特許法の理念 （2）特許制度の位置づけと特徴 特許法第2回 特許権の国際的保護 （1）属地主義 （2）条約</p>			

（3）並行輸入 特許法第3回 特許権の保護対象 発明とは何か （1）自然法則の利用 （2）技術的思想の創作 特許法第4回 特許要件 （1）産業上利用可能性 医療行為の問題 （2）新規性 （3）進歩性 （4）不特許事由 特許法第5・6回 手続要件・出願手続・審査 1．手続要件 （1）発明の開示（明細書記載要件） （2）先願 （3）先願範囲の拡大 2．出願手続 補正 3．審査 特許法第7回 特許を受ける主体 （1）冒認出願 （2）共同発明 （3）職務発明制度 特許法第8回 特許権の効力1 （1）効力の内容 （2）存続期間 特許法第9回 特許権の効力2 （1）特許発明の技術的範囲 （2）均等論 特許法第10回 特許権の効力の制限・裁定実施権・法定実施権・許諾による実施権 特許法第11回 特許権侵害1 （1）特質 （2）間接侵害 特許法第12回 特許権侵害2 救済措置（特許法の特則） 特許法第13回 審判・審決取消訴訟 特許法第14回 特許権の流通・担保化・実用新案法 特許法第15回 総括
競争法第1回 不正競争防止法の位置づけと概要 （1）知的財産法における位置づけ （2）不正競争防止法の概要 （3）法の性格 （4）商標法との相違 競争法第2回 営業上の信用保護 （1）周知商品等表示混同行為 （2）著名商品等表示無断使用行為 競争法第3回 商品形態の模倣の規律 競争法第4回 営業秘密の不正利用 競争法第5回 技術的管理の保護・ドメイン名不正取得・原産地等誤認表示・信用毀損 競争法第6回 商標法のあらまし （1）商標法の法目的 （2）商標の意義 （3）商標の機能 （4）登録主義と使用主義 競争法第7回・8回 商標の登録 1．登録要件 （1）使用の意思 （2）他商品識別力・独占適応性 （3）不登録事由（4条） 2．登録手続 （1）出願 （2）審査・拒絶査定不服審判 （3）登録異議申立 （4）登録無効審判 競争法第9回 商標権の効力 （1）使用権と禁止権・みなし侵害 （2）類似とは何か （3）存続期間 競争法第10回 商標権侵害が否定される場合 （1）商標権の効力が及ばない範囲 商標的使用に該当しない場合 （2）並行輸入 （3）先使用権 競争法第11回 商標権の更新登録と登録取消制度 競争法第12回 団体商標制度・地域団体商標制度・防護標章登録制度 競争法第13回 商標の国際的保護 競争法第14回 意匠法の概要 競争法第15回 総括
授業時間外の学習として、各回の授業前にe-classで配布されるレジュ

メをダウンロードして読み，該当箇所の教科書・参考書を読む。授業後も同様に復習し，前年度の試験問題の該当部分を解き，理解を確認する。

教科書	
参考書	小泉 直樹 『知的財産法』(弘文堂,2018) 平嶋 竜太 ほか 『入門知的財産法』第2版(有斐閣, 2020) 高林 龍 『標準特許法』第7版(有斐閣, 2020) 島並 良 ほか 『特許法入門』(有斐閣 2014) 茶園 成樹 編 『特許法』第2版(有斐閣, 2017) 駒田 泰土 ほか 『知的財産法 特許法(有斐閣ス トゥディア)』(有斐閣, 2014) 茶園 成樹 編 『不正競争防止法』第2版(有斐閣, 2019) 茶園 成樹 編 『商標法』第2版(有斐閣, 2018) 茶園 成樹 編 『意匠法』第2版(有斐閣, 2020) 小泉 直樹 ほか編 『特許判例百選』第5版(有斐閣, 2019) 茶園 成樹 ほか編 『商標・意匠・不正競争判例百選 』第2版(有斐閣, 2020) 小泉 直樹=駒田 泰土 編 『知的財産法演習ノート 』第4版(弘文堂, 2017) 『知的財産権法文集』(PATECH 企画, 2020)